



川口けいすけのグリーンス川越

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介

〒350-8601 川越市元町1-3-1 川越市役所6F 政晴会 議員控え室

TEL 080-3025-5776 FAX 049-227-3810 E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com

80
SINCE 2003

平成31年度一般会計予算案は昨年度比1.7%減の1115億5千万円

予算の45%をしめる民生費は、約500億で過去最大額を計上。民間保育所整備費補助、子育て安心施設の整備（保育園等へ児童を送迎する送迎保育ステーション機能も）、障害者・高齢者福祉サービス、生活保護世帯や・ひとり親家庭の生徒等への学習支援を引き続き実施する予算案となっています。 ※ 詳細は議会報告会にて



★ 一般質問は、①シニア世代の健康促進とアクティブに活動できるまちづくりについて。②ソフトウェアロボットによる業務効率化について質問予定ですが、紙面作成時期の関係上、詳しくは報告会にて。

3月議会代表質疑より ※ 詳細は議会報告会にて

平成31年度の市長の市政方針に対し会派を代表して質疑

* 質疑とは、議案に対して疑問点や不明確な部分について説明を求めること。

川越を「子育てしたい街」に

Q, 川越を「子育てしたい街」にするための要素は、一般的には保育環境の整備だけではなく教育環境や公園の数や質、治安が良い、病院が近いことなどが重要視されている。本市に足りないと思うところ、充実させたいところについて市長の考えは。

A, 妊娠・出産・子育てへの相談体制の充実、子どもの学習環境の充実、等の取り組みが必要。さらに、公園設備の充実等、安心して子育てが出来る環境づくりに努めたい。



古谷地区、荒川河川域の調節池について

Q, 古谷地区東側の荒川河川域において、国による荒川調節池整備計画が進められているが、東京を守る事業で古谷地区がリスクを負うのでは、と不安の声も上がっている。地域の災害対策、安心安全に様々な影響があると考えられるこの事業について、及び事業に合わせた周辺対策について、市長はどう認識し、対応されるお考えなのか。

A, 洪水の一部を調節池に流入させることにより、堤防決壊のリスクを低減させるものと聞いている。また、この事業と同時にJR川越線の橋梁架け替えや堤防整備が進められることを踏まえ、住民の安心安全に繋がる周辺対策についても国交省と調整したい。今後も治水安全度の向上が図られるよう強く働きかける。



写真は第一調節池

市長が考える2025年対応とは

Q, 団塊の世代が75歳となる2025年を見据えた対応が必要との記載があるが、具体的に市長が考える2025年対応とはどのようなものか。

A, 社会保障費の増大や、高齢者の孤立化、空き家問題などの課題対応が求められている。高齢者を支える施策以外にも、コンパクトシティやバリアフリーへの取り組み、交通システムなど様々な施策と密接に関係していると認識している。

